

臨床研究へのご協力のお願い

JCHO 金沢病院では、下記の臨床研究を実施しており、「対象となる患者さん」に該当する方へご協力をお願いしております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合は、以下の問い合わせ先にご連絡ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] TEP 法および TAPP 法に関する検討

[研究責任者] 外科 東 友理

[研究の目的]

2018年に鼠径ヘルニアの国際的なガイドラインが発足され、推奨術式が変遷されてきました。2023年に最新版のガイドラインが発行され、腹腔鏡を用いた手術では腹膜前到達法（TEP法）と腹腔内到達法（TAPP法）が推奨されています。現時点ではどちらの術式が良いかは明記されていません。当院では両術式ともに施行されており、合併症や再発率、手術時間などを比較検討できるため、今後鼠径ヘルニアの手術を受けられる患者様の術式選択の一助になると考えています。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2017年1月1日-2024年6月30日の7年間で鼠径ヘルニア手術を受けられた患者さん

●研究期間：機関長許可日～2024年12月31日

●使用する試料（血液・組織等の検体）、カルテ等の情報

試料：なし

カルテ等の情報：対象者さんの身体情報と手術記録、術後の受診記録

●目標症例数：800例

●代表及び共同研究機関

本研究の代表研究機関は当院です。

代表研究機関（代表研究者）

JCHO 金沢病院（東 友理）

[個人情報の取り扱い]

研究に利用する情報は、お名前、住所など、個人を判別する情報は削除し研究用の番号を付けます。当院の研究責任者はそれらの情報について、責任をもって適切に管理いたします。また研究結果を学会や学術雑誌などに発表することがありますが、その際も

個人を直ちに判別できるような情報が公表されることは一切ありません。

将来、この研究で得られた情報も別の研究に利用（二次利用）する可能性があります。その場合も個人を直ちに判別できる情報を出すことはありません。二次利用する場合は、その研究計画について改めて倫理審査委員会及び研究機関の長の承認を得て実施となり、その内容は参加機関のホームページ等で公開されます。

[研究の資金源、利益相反について]

この研究に研究者の利益相反^{*}については、ございません。

※外部との経済的な利益関係等によって、研究データの改ざん、特定企業の優遇など研究が公正かつ適切に行われていないと第三者から懸念されかねない事態のこと。

[この研究の参加について]

この研究への参加や途中での参加中止は、あなたの自由な意思で決められます。患者さんまたはその代理の方が、この研究に参加にご協力いただけない場合は以下の問い合わせ先までご連絡ください。当院および代表研究機関での研究参加中止の登録をいたします。研究にご協力いただけない場合でも、診療において何ら不利益を被ることはありません。ただし、ご連絡いただいた時期によっては、この研究の結果が論文などで公表されているなどであなたのデータを取り除くことができない場合がありますことをご了承ください。

[問い合わせ先]

担当者：東 友理

住所：〒920-0013 石川県金沢市沖町ハ 15

電話番号：076-252-2200

E-mail：higashi-yuri@kanazawa.jcho.go.jp